

# しろいし 市議会だより

2015  
**秋**  
第179号

- 2~4P 9月定例会の概要・議長、副議長のあいさつ
- 5~8P 決算審査特別委員会
- 8~9P 予算審査特別委員会
- 9P 常任委員会
- 10~13P 市政に対する一般質問(7名)
- 14P 各種委員会設置
- 15P 8月臨時会
- 16P 人事・編集後記

第8回 鬼小十郎まつり  
(片倉鉄砲隊の火縄銃演武)







市長の提案理由説明

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故により生じた事故被害対策経費の損害賠償請求について、原子力損害賠償紛争解決センターに和解の仲介を申し立てします。

◎あっせんの申立てについて

条例等

審議した議案の主なものは次のとおりです。

○申立て予定額

2億1千62万7千391円  
及び遅延損害金  
(平成23〜25年度分)

◎組織再編に伴う関係条例の整備に関する条例

地方創生施策の積極的展開を図り、効果的・効率的な業務態勢を整えるため、組織再編を図ります。平成28年4月1日から実施されます。

9月定例会

平成26年度決算を認定  
一般会計補正予算など16議案可決

平成27年9月定例会は、9月3日から9月18日までの16日間の日程で開催されました。市長提出議案は、人事2件、平成26年度各会計決算の認定等2件、条例等7件、平成27年度各会計補正予算5件の計16件でした。

定例会初日、第69号議案及び第70号議案については、委員会付託を省略し表決の結果、全会一致で同意しました。

2日目、第71号議案及び第72号議案の質疑が行われ、決算審査特別委員会に審査が付託されました。

3日目、第73号議案から第84号議案の質疑が行われ、条例2議案は総務産業建設常任委員会に、予算5議案は予算審査特別委員会にそれぞれ審査が付託され、その他の議案は表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

一般質問は、9月16日と17日の2日間で、7名の議員が質問を行いました。

定例会最終日の本会議において、各委員長報告を行った後、表決の結果、いずれも全会一致で、認定、原案のとおり可決しました。

また最終日に、市長提出議案2件が追加提案され、質疑を経て、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

同日、議員提出議案1件が上程され、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

就任のあいさつ



議長  
佐久間 儀郎

副議長  
大町 栄信

市民の皆さまには、日ごろ、市議会に対し、格別なるご支援をいただいておりますこと、心より厚く感謝申し上げます。

私も、第46回市議会臨時会において、議長、副議長の要職をつとめさせていただくことになりました。身に余る光栄と同時に責任の重大さに身が引き締まる思いであります。

さて、本市は第五次白石市総合計画の後期にあたり、「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」による市民総参画のまちづくりを推進しなければなりません。また、「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、白石版人口ビジョンと総合戦略の策定が待たれています。行政だけでなく、共通の幅広い正確な情報をもって、市民の皆さまと一緒に、議会は人口減対策を審議、決定してまいります。

さらに、「議会基本条例」の制定により、市民の皆さまの期待は大きく、この流れを途絶えさせることなく、議会改革を推進してまいります。

市民の皆さまの一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

この組織再編に伴い、市の関係する条例を整備するものです。

主な再編による組織は次のとおりです。

現行：総務部・民生部・産業部・建設部

再編：総務部・保健福祉部・市民経済部・建設産業部

○危機対策室

現在の生活環境課交通防災係を、防災対策の迅速化・一元化により、一層の安心・安全なまちづくりを推進するため、総務部総務課内に再編して設置

○企業立地定住促進課

地方創生の重要施策である企業立地施策と移住・定住施策の相乗効果を図るため再編して市民経済部に設置

○学校管理課

教育委員会制度改革により市長部局との連携強化を図るため、現在の管理課と学校教育課を再編して設置

その他、市民課国民年金相談係は健康推進課に、商工観光課は市民経済部の所管にそれぞれ変更となります。

予 算

◎平成27年度白石市一般会計補正予算(第3号)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ4億5千823万9千円を追加し、予算総額を188億6千54万5千円とするものです。主な内容は次のとおりです。

○白石市公式ホームページリニューアル事業 1千61万1千円

○情報セキュリティ対策事業 2千250万円

○市有公用車ドライブレコーダー導入事業 300万円

○東北新幹線白石蔵王駅多機能トイレ整備事業補助金 200万円

◎平成27年度白石市水道事業会計補正予算(第2号)

資本的収入で企業債を1千210万円増額し、資本的支出で委託料を1千213万2千円増額するものです。これは、大鷹沢大町地区における水道施設整備を行うものです。

◎平成27年度白石市一般会計補正予算(第4号)(定例会最終日提案)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ7千753万3千円を追加し、予算総額を189億3千807万8千円とするものです。これは、9月の大雨被害による災害復旧を行うものです。

◎平成27年度白石市水道事業会計補正予算(第3号)(定例会最終日提案)

資本的収入で企業債を、資本的支出で工事費をそれぞれ3千万円増額するものです。これは、配水施設に残留塩素計の設置を行うものです。

9月定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
第69号	市長提案 教育委員会委員の任命について	同意
第70号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第71号	平成26年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第72号	平成26年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定について	原案可決及び認定
第73号	組織再編に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
第74号	白石市個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決
第75号	白石市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例	原案可決
第76号	白石市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第77号	白石市有害鳥獣解体場条例	原案可決
第78号	あっせんの申立てについて	原案可決
第79号	白石市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
第80号	平成27年度白石市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
第81号	平成27年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第82号	平成27年度白石市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
第83号	平成27年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第84号	平成27年度白石市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
第85号	平成27年度白石市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
第86号	平成27年度白石市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
第7号	白石市議会議事規則の一部を改正する規則	原案可決

※意見(賛否)が分かれた議案はありませんでした。

# 議員提案

◎白石市議会議規則の一部を改正する規則  
(定例会最終日提案)

この改正は、近年の男女共同参画が進むなかで、地方議会においても、女性議員が活躍できる環境を整備して、議会を活性化し、より良い住民サービスを実現するため、規則に『女性が出産のため、会議や委員会に出席できないときの欠席に関する届出』の規定を追加するものです。

## 本会議質疑より

◎平成26年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

〔質疑〕一般会計の経常収支比率は95・6%で、財政の弾力性がなくなってきたており、大変厳しい状況にある。今後の財政運営について、どのように考えているのか伺う。

〔答弁〕経常収支比率は、前年度よりも7.5%増加した。

これは、歳入において、平成26年度減収補てん債(特別分)の発行がなかったことや、歳出において、一部組合に対する負担金が増加したこと、消費税改定による物件費の経費が増加したこと、また、平成26年度に借入れした臨時財政対策債が、据置期間をなくし償還することにより、それらに充当する一般財源が増加したためである。

市の財政指標では、経常収支比率は悪化しているが、財政力指数・義務的経費比率・起債制限比率や実質公債費比率などは良化している。一つの指標のみで財政状況を判断するのではなく、財政の健全性を確保しながら、持続可能な財政運営に努めていきたい。

〔質疑〕今までの行財政運営を見ると、厳しい財政状況の下で、未収金の解消や集中改革プランで、さらなる経費削減に努めると想定されるが、市民の暮らしや行政サービスが低下することはないのか、

今後の対策について伺う。

〔答弁〕市税の収納については、本年4月からコンビニエンスストアでの納付を可能にするなど、市民の利便性を図りながら、収入確保に努めていきたい。

行財政改革は、第一次行政改革大綱(昭和60年度)を策定して以来、計画的に改革を行ってきた。平成17年度には白石市行財政改革推進計画(集中改革プラン)を策定し、今年度は、その計画の「第二次改訂版」の最終年度を迎えている。

今後も、市の財政運営にとつて厳しい状況は続くが、市民の理解と協力を得ながら、限られた財源を重点的・効率的に配分し、より良い行政サービスを提供していきたい。

◎あっせんの申立てについて

〔質疑〕今回、原子力損害賠償紛争解決センターに和解仲介を申し立てすることに踏み切った理由について伺う。

〔答弁〕東京電力(株)福島第一原子力発電所における事故の引き金は、東日本大震災であるが、事故そのものは人災だと考える。

当時、白石市が受けた被害は、今まで経験したことがない『放射能』への対応であり、片手間でできる仕事ではなかった。そのため、いち早く『放射能対策室』を設置し、対応したものである。その人件費に関する考え方が、東京電力(株)では、業務の一つであると主張しており、

白石市の主張とまったく違っていることがその理由の一つである。

また、今年に入り宮城県や丸森町が被害に対する和解仲介の申し立てを行っている。それ以前には、岩手県が申し立てを行っており、満額ではないが和解している事例もある。

これらの理由から、今回、原子力損害賠償紛争解決センターに対して和解仲介の申し立てを行うことにしたものである。

〔質疑〕申し立てをした場合、解決までの期間はどの程度かかるのか、また、その費用は発生するのか伺う。

〔答弁〕申し立てから解決までの期間については、原子力損害賠償紛争解決センターでは、4〜5カ月程度の解決を目標としているが、事案によっては1年以上かかる場合がある。

今回の申し立て・和解の仲介に関する手数料は無料である。ただし、提出書類の作成や郵送料等については、当事者の負担となっている。



### 経常収支比率とは

地方公共団体の財政構造の弾力性を見るうえで最も重要な比率で、人件費・扶助費・公債費などの経常的な経費に、

地方税や地方交付税などの経常的な一般財源がどれだけ充当されているかという割合を示すものです。

これが、市では80%、町村では75%を超えると財政構造の弾力性を失いつつあると考えられています。



# 決算審査特別委員会

第71号議案・平成26年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について及び第72号議案・平成26年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定についての2議案は、定例会2日目（9月7日）の本会議において質疑が行われた後、議長及び監査委員（小川正人）を除く全議員で構成する決算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会（委員長・四竈英夫、副委員長・菅野恭子）は、9月9日及び10日の2日間にわたり審査を行い、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決及び認定しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

## 一般会計

### 総務費

〔質疑〕交流事業の推進について、新竹白石親交会と連携のもと、台湾新竹市との新たな交流を進めており、今年が2年目であるが、新竹市訪問事業によるその成果と今後の取り組み・計画等について伺う。

〔答弁〕新竹市との交流は、白石と新竹北の両ロータリークラブが30年以上の交流をしている縁で、台湾新竹市と交流を図り、異文化交流、国際的視野の拡大と台湾からの交流人口を呼び込むことを目的に、平成25年11月に新竹白石親交会を設立した。

平成26年6月26日から29日まで25名の訪問団で新竹市を訪問をしている。今年度も、6月28日から7月2日まで25名で訪問しており、交流が大分深まっている。

今後の取り組みについては、平成26年11月に新竹市長選があり、市長がかわったこともあり、平成26年度中に新竹市から白石市への訪問がなかったという事情がある。今年度の訪問時に、白石市への訪問をお願いし、ぜひ行きたいという話をいただいた。

三本木線は、2千483人の減少であるが、運賃収入は5万7千400円増加している。これは、主に無料の小・中学生の減少が要因であると分析している。

今後は、新竹市の状況を見ながら進めていきたい。

小原線は、前年度比で2千人の減少で、運賃収入は27万3千200円減少している。これは、主に有料である高齢者などの一般利用者の減少が要因であると分析している。

〔質疑〕白石市民バス運行管理事業運営状況について、利用人数が、前年度より減っている。1日当たり33人の減であるが、これは何が要因であると考えるか伺う。

一方、白角線は利用者が345人増加しているが、運賃収入は8万900円減少している。これは、無料の就労支援施設利用者、小・中学生や有料の高齢者などの利用が増加したが、高齢者などの一般利用者の減少が要因であると分析している。

〔答弁〕前年度比で2千人以上利用者が減少した路線は、越河線・三本木線・小原線の3路線である。一方、利用者が増えた路線は、白角線の1路線のみという状況である。

過去3年における利用者の状況は、運行路線地域における少子化、定期的にご利用する高齢者の減少が主な要因として利用者の減少につながっていると考えられる。

越河線は、2千143人の減少で、運賃収入は30万2千700円減少している。これは、主に有料の高校生や高齢者などの一般利用者の減少が要因であると分析している。

〔質疑〕バスの時間帯が、利用しにくいということも原因の一つになるのではないか。

〔答弁〕平成20年度以降、利用者が減少傾向にあることから、平成26年度上半期において各地区で市民バス懇談会を開催した。懇談会において、市民バスの現状を説明し、その後、利用者増を図るため、地元の意見や要望を運行委託費増加や運転手増員を伴わないという範囲で聞いている。それらの意見・要望を精査・検討し、平成27年度の運行計画に反映している。

具体的には、三本木線で昼間の時間帯を1便増便して運行している。越河線では、買い物を中心とした特別便を運行している。

また、刈田病院のシャトルバス廃止に伴う直通便の運行、小原線に観光客を呼び込むため、『白石市アンバサダー』の森川智之さんによる温泉案内などを実施している。

〔質疑〕スパッシュランドしろいし運営状況について、平成25・26年度ともに利用者が増加しているが、その内容について伺う。

〔答弁〕平成25年度と比較して入館者が3千733人、7.7%ほど増となっている。

その主な要因は、夏休み等の平日もA.Z.9パスポートの利用を可能にしたり、各教室の回数を増やした。また、イベントや合宿等の誘致をしたことで増加となった。

## 衛生費

〔質疑〕放射能対策事業について、民家除染は、月日がたつと0・23マイクロシーベルトを超える場所もある。また、通学路でも雨などにより放射能が高くなっているところもある。今後の放射能測定も含めてどのような対応をしているのか伺う。

〔答弁〕民家除染は、平成25・26年度の事業により実施したが、その後の検証も必要である。今年度、その効果が持続しているかを確認するため、空間放射線量事後モニタリングを実施している。また、通学路の除染について

では、除染廃棄物の置き場等の問題、さらに事故発生後4年半経過しているため、今年度中に再度、通学路の空間放射線量を測定し、その結果を受けて処理の方法を検討していきたいと考えている。

〔質疑〕生ごみ資源化事業所（シリウス）及び併設する農業ハウスについて、今後の利活用はどのようになるのか伺う。

〔答弁〕シリウスは、7月末をもって休止し、現在の施設の清掃業務を行っている状況である。

この施設の建設は、農林水産省の補助金を活用して建設しているため、補助金適正化法に基づく財産の取り扱いについて、現在、東北農政局と協議中である。この結果を踏まえ、廃止の時期や今後の利活用について慎重に検討していきたい。

また、農業ハウスについては、今年度、イチゴの苗等を植えて保育園の園児の皆さんなどに提供していく予定であるが、来年度以降は、まだ決定していない状況である。

## 農林水産費

〔質疑〕有害鳥獣対策事業における震災以降の被害の総額とその対策について伺う。

〔答弁〕震災以降の被害については、平成24年度は、被害面積が911アール、被害金額は568万6千円、捕獲したイノシシの頭数は85頭である。

平成25年度は、被害面積が3千376アール、被害金額は2千761万3千円、捕獲頭数は589頭である。

平成26年度は、被害面積が5千899アール、被害金額は5千634万2千円、捕獲頭数は834頭である。

主な対策は、被害防除のため、農家への電気柵補助をしている。また、猟友会に有害鳥獣被害対策実施隊を組織してもらい、捕獲したイノシシ1頭当たり昨年度まで2万円の補助をしている。そのほか、箱わたの補助などの対策を行っている状況である。

## 商工費

〔質疑〕観光振興事業において、平成26年度から白石市民春まつりとこけしコンクールの会場にバスを歩き来させ、相乗効果による観光客の市内滞留を図っているが、その効果と成果について伺う。

〔答弁〕春まつり協議会が企画し、こけしコンクール会場

と春まつり会場を結んでスタンプラリーを実施しており、お互いの会場を歩き来することで、それぞれのイベントの理解が深まり、非常に効果はあったと考える。

この相乗効果による成果は、平成26年度は約250人、平成27年度は約500人である。

### 平成26年度 一般会計・特別会計決算の状況

〔単位：円〕

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	16,639,726,669	15,946,912,069	692,814,600
特別会計	8,152,907,798	7,802,029,018	350,878,780
国民健康保険	4,383,898,313	4,138,050,673	245,847,640
介護保険	3,382,411,899	3,298,735,733	83,676,166
後期高齢者医療	386,597,586	365,242,612	21,354,974
合計	24,792,634,467	23,748,941,087	1,043,693,380

### 平成26年度 企業会計決算の収支状況

〔消費税相当額を含む〕〔単位：円〕

会計名	収益的収入	収益的支出
水道事業	1,011,887,238	930,982,055
下水道事業	1,054,282,153	1,079,397,993



## 土木費

〔質疑〕白石沖西堀線街路事業の用地買収に係る現在の進捗率について伺う。

〔答弁〕現時点において、用地買収面積で約60%が契約を完了している。

## 教育費

〔質疑〕児童・生徒の基礎学力の向上の手段であるタブレット型パソコンについて、第二小学校での現地調査の際、校長先生からも台数が足りないという話があった。

各学校では、授業は同じ速さで進んでいる。その中で使いたいときに使えないということも聞いている。各学校への貸し出し状況について伺う。

〔答弁〕各学校から第一小学校や白石中学校に申し込みを行い、各学校が借りに行く形を取っており、各学校では、月1回程度の利用実績となっている。

〔質疑〕クラスの全員ではなく、何台かずつ各学校に配備し、有効活用する中で同じ教育ができるという環境や施策も必要ではないか。

〔答弁〕各学校に配備できれば一番良いが、将来的に現在各学校にあるコンピュータ室のパソコンの更新時期にあわせてタブレット型パソコンへの切り換えをできればと考えている。

現在の利用形態は、グループで使用する、または、教師がタブレットを使い、電子黒板と連動させながら使用することが多い。利用期間は、長いところで1カ月ぐらい数台を利用してグループで活用をしている状況である。

今後、各学校において調査し、現在の利用に加え、さらにグループで各学校に長期にわたって貸し出しができるような体制をとっていきたいと考える。



決算審査特別委員会の現地調査（白石第二小学校でのタブレット型パソコンによる授業）

〔質疑〕古典芸能伝承の館の工事請負費の不用額について伺う。

〔答弁〕古典芸能伝承の館の屋根のふき替え工事において、当初の計画では、屋根材を銅板ぶきで考えていた。しかし、実施設計の段階で、冬季の積雪時、屋根から雪が滑って落ちる危険性もあることから、雪どめ材を屋根に設置する必要が出てきた。その材料はステンレス製であり、予定していた銅板との金属相性が悪く、材料の酸化が進んでしまうため、銅板からガルバリウム鋼板に屋根材を変更した。この屋根材の変更により、材料単価が安く抑えられ、コスト縮減が図られたため、不用額が生じたものである。

## 特別会計

〔質疑〕介護保険において、本市の総人口が減ってきており、1号・2号被保険者も前年度と比べると若干減ってきている。しかし、高齢化率は

伸びているという状況の中で、介護の環境というのは非常に厳しい状況にある。

そのような状況の中、地域包括支援センターや介護にかかわる職員は、日夜全力で仕事をしていると考えるが、現場として、マンパワーの不足を感じることはないのか伺う。

〔答弁〕やはり最前線に立つのは、地域包括支援センターと考えている。そのため、平成27年度において職員を2名増員しており、現在、何とか相談等に対応している。

## 企業会計

〔質疑〕下水道事業の監査意見書には、「さらなる経営の効率化と健全化が図られるように望むものである。」と書かれているが、なかなか厳しい環境の中で、下水道事業の経営の効率化や健全化をさらに図ることは可能なのか。平成26年度決算を踏まえて、その方針や考えを伺う。



予算審査特別委員会の現地調査（白石第一小学校）

〔答弁〕下水道事業の経営状

況は、純利益・経常利益ともに厳しい状況にある。これは東日本大震災以降の災害復旧を優先しなければならぬため、かなりの費用がかかっている状況にある。

しかし現時点では、最初に災害復旧を優先させ、その後において、経営の効率化・健全化をいろいろ検討しながら、改善に向けて努力していきたいと考えている。

## 予算審査特別委員会

第80号議案・平成27年度白石市一般会計補正予算（第3号）

から第84号議案・平成27年度白石市水道事業会計補正予算（第2号）の計5議案について、定例会3日目（9月8日）の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会（委員長・山田 裕一、副委員長・松野久郎）は、9月9日に現地調査を行った後、9月14日に審査を行い、すべての議案について、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

### ◎平成27年度白石市一般会計補正予算（第3号）

#### 総務費

〔質疑〕公用車へのドライブレコーダーの配備について、その詳細を伺う。

〔答弁〕市の公用車は、事務用や緊急用の消防ポンプ積載車等、約190台ほど所有している。今回、ドライブレコーダーを整備する車両は30台で、市民バスやスクールバス、ET

Ｃ搭載車に配備するものである。今後は、事務用車両へも整備していく予定である。

〔質疑〕債務負担行為補正の公共施設等総合管理計画策定及び地方公会計整備業務委託料の詳細について伺う。

〔答弁〕公共施設等総合管理計画の策定には、資産や債務を正確に把握することが必要で、この計画とは別に国から要請されている統一的な基準による地方公会計の整備と一体的に進めることにより、効

率的かつ効果的な計画とするため、平成28年度までを期間とする債務負担行為により事業を実施するものである。

公共施設等総合管理計画については、10年以上の長期にわたる計画で、地方公共団体が所有するすべての公共施設が対象で、更新・統廃合・長寿命化など公共施設の管理に関する基本的な考え方をまとめて方針を出すものである。

この計画の策定に係る経費については、対象経費の2分の1を平成26年度からの3年間で特別交付税で措置されるものである。

地方公会計整備については、今まで統一的ではなかった会計を、企業会計における財務諸表・貸借対照表、企業の損益計算書に当たる行政コスト計算書などの財務諸表の整備をするものである。地方公共団体それぞれ独自の方法ではなくて、統一的な方法で作成をするということが求められており、平成27年度から平成29年度までの3年間で整備した場合、特別交付税の財政的な支援がある。

〔質疑〕公共施設等総合管理計画には、一部事務組合が所有する施設等も含まれるのか伺う。

〔答弁〕この計画は、それぞれの団体等で所有している公共施設等が該当することになる。そのため、一部事務組合等が所有する公共施設等の計画を策定する予定はない。

〔質疑〕維持管理費用等は自治体の負担であり、本市が8割以上を負担している一部事務組合についても、負担金の増加等が見込まれる。

そうした場合、この計画は一部事務組合の負担金等も含んで策定する必要があるのではないのか伺う。

〔答弁〕この計画を策定するため、本年4月に検討委員会を立ち上げ、現在、作業を進めているところである。一部事務組合から資料等の提供があれば、それらをもとに、この計画に反映していくことも検討していくように考えている。



# 民生費

〔質疑〕白石蔵王駅の多機能トイレ整備事業について、JR側から市に対して助成の要請があったとのことだが、近隣市町へも要請があったのか

〔答弁〕JR側からは、駅を設置している場所の自治体だけに要請しており、近隣市町への要請はなかった。

〔質疑〕この多機能トイレは、車いすを利用する障がい者などに対して利便性があるものなのか伺う。

〔答弁〕設置するトイレは、駅構内の改札を入れて正面の部分でトイレにする計画である。トイレの構造については、オストメイトが使えるトイレで、階段がなく車いすでも十分に入って利用できる広さが確保されている。

# 常任委員会

第73号議案から第79号議案の計7議案について、定例会3日目（9月8日）の本会議で質疑が行われた後、第75号議案・白石市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例及び第77号議案・白石市有害鳥獣解体場条例の2議案は、総務産業建設常任委員会に審査が付託され、9月14日に議案の審査が行われました。  
審査の中で議論された主な内容は次のとおりです。

## 総務産業建設常任委員会

- 委員長 山谷 清
- 副委員長 菅野 恭子
- 委員 保科善一郎・濫谷政義  
大野栄光・四籠英夫  
小川正人・佐藤聡一  
志村新一郎

### ◎白石市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例

平成28年1月から個人番号の利用が開始されるにあたり、特定個人情報の保護措置に関する、管理状況の確認をする特

本市では、諮問機関である白石市情報公開・個人情報保護審査会が行うことになる。審査会の委員は、法科大学院教授や弁護士などを含む5名に委嘱している。

### ◎白石市有害鳥獣解体場条例

この条例は、イノシシの捕獲頭数の増加により、捕獲後の解体処理の迅速化及び軽減化を図るために設置する有害鳥獣解体場について、その設置及び管理運営に関し必要な事項を定めるものです。

設置場所…福岡八宮字 弥治郎東40番地63

〔質疑〕解体場の管理運営について、将来的に指定管理を行う場合、特別な要件等はあるのか。

〔答弁〕現時点で、指定管理により運営する場合の特別な要件は、特に検討していない。当面は、市が直接管理運営する予定であるが、捕獲したイノシシの運搬や処理につい

ては、有害鳥獣被害対策実施隊にお願いすることになる。そのため、供用開始後の施設の利用頻度などの状況を見ながら、将来的には、実施隊への指定管理を検討していきたいと考えている。

〔質疑〕解体したイノシシを角田市の処分場で焼却する場合、運搬費はどれくらい見込んでいるのか。

〔答弁〕運搬は、ゴミ清掃業者への委託を想定している。1回当たりの運搬に1万6千円程度の費用がかかり、年間100万円程度の経費が必要になると見込んでいる。

〔質疑〕施設の日常的な管理運営体制は、どのように行われるのか。

〔答弁〕各実施隊の隊長に力を渡し、利用の都度管理してもらおうことになる。

市では、定期的に施設の点検や確認等を行うことになる。今年度の運営状況を踏まえ、来年度以降の管理運営体制について検討していきたい。

# 市政に 対する 一般質問

## 〽〽7名の議員が質問〽〽

9月定例会の一般質問は、9月16日・17日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

**山田 裕一** 道の駅建設について 他

**松野 久郎** 白石市小中学校の将来構想について

**佐藤 龍彦** 子ども医療費助成制度について 他

**伊藤 勝美** 防犯カメラ設置促進について 他

**菅野 恭子** 下戸沢簡易水道の水源について 他

**保科善一郎** 白石版地方創生総合戦略について 他

**四竈 英夫** 小中学生の校内校外生活について 他

### 道の駅建設について

山田 裕一



がいかかが。

【質問】「道の駅」は、安全で快適な道路交通環境を提供し、24時間利用可能なトイレ、休憩場所等、道路利用者の交通安全につながる。

また、地域振興面では、観光拠点として各種イベント情報、地域の特産物や農産物を売

ることで、観光資源や地域資源拡散の効果があり、大きな経済効果をもたらず。さらに現在では、防災拠点機能の役割も担っている。宮城県は、他県と比較して道の駅が12カ所と少なく、特に仙台から南の地域で国道4号線沿いに道の駅はない。

そこで、第五次白石市総合計画を加速させるためにも、「道の駅」は必要な施設と考える

【答弁】【市長】現在、本市においては、国道4号線の沿線に隣接する建設可能な市有地を保有していない。今すぐ設置することは難しい状況だが、「道の駅」は、地域とともに生きる個性豊かな賑わいの場として、また、災害時には、防災機能を発揮する有効な施設である。さらに、農業経営や地域経済の活性化を目指す農業の6次産業につながる施設として期待されることから、今後、実現の可能性について検討していきたい。

◎市民バスの利用促進策について

【質問】多くの市民から、白石駅と白石蔵王駅との距離が離れているため、乗り換えが不

便であるという声を耳にする。この区間を走る市民バスは3路線で、上下線で一日28便が運行している。平成26年度の1便当たりの乗車人数は約5人である。またこの区間は、ミヤコーバス18便、七ヶ宿町営バス10便が運行しており、合計で一日56便が運行している。

そこで、市民バスの利用促進のため、出発時間・バスの種類・路線・待ち時間などを組み合わせたバス時刻表を作成し、それぞれの駅構内やバス乗り場に掲示してはいかかがか。

【答弁】【市長】わかりやすい案内は非常に重要であるため、提案された一覧については、早急にJR側と協議し、白石駅や白石蔵王駅構内に提示できるように進めていきたい。

【その他の質問】

◎平成26年度一般会計

決算について

◎防災力向上策について



## 白石市小中学校の将来構想について

松野 久郎



8月25日開催の全員協議会における「白石市小中学校将来構想」についての説明内容を踏まえ質問する。

〔質問〕検討委員会の委員の選定方法について伺う。また、統廃合の該当校の学校区の方も参加しているのか伺う。

〔答弁〕【教育長】白石市小中学校あり方検討委員会設置条例第3条の規定に基づき、学識経験者・保護者代表・地域代表・学校代表から委員を選定し、委嘱または任命している。該当する学校区からも参加いただいている。〔質問〕今後の具体的なアクションプランの内容について伺う。

〔答弁〕【教育長】10月の「広報しろいし」に記事を掲載する。

また、10月中に現在対象になり得る地域、具体的には、越河小学校・斎川小学校・白川小学校、小原中学校・南中学校・白川中学校で保護者説明会を開催し、その後、今年度中に対象地区において、地域の方への説明会を行いたいと考えている。その後に、具体的なアクションプランを立てていきたい。

〔質問〕統廃合の実施時期によっては、進級時から学区外通学を希望する児童・生徒が増える可能性もあることから、実施時期は、十分に配慮することが大切と考えるが、その対応について所見を伺う。〔答弁〕【教育長】どの

学年で、どの時期に行っても必ず起こり得る問題であると考えている。

しかし、学区外通学は、あくまでもその基準を満たした者であることが条件である。誰でも行きたいから行けるというものではない。

〔質問〕統廃合後の通学における具体的な計画について伺う。

〔答弁〕【教育長】現在、計画はしていないが、統廃合が行われる場合は、当然、検討していくことになる。

〔質問〕各小学校区の子ども会育成会や地域との関わり合い等について、どのように考えているのか伺う。

〔答弁〕【教育長】この学校に通学しても、地域の子どもはあくまで地域の子どもであり、地域との関わりは変わるものではない。今後、現在の体制が維持できるように努力を続けていかなければならないと考えている。

## 子ども医療費助成制度について

佐藤 龍彦



子どもがけがをしたり病気になるたとき、お金の心配がなく病院にかかれる子ども医療費助成制度は、窓口負担の無料化や対象年齢の引き上げなど、制度の拡充を求める取り組みが各地で進められている。

本市でも、昨年10月から医療費助成が中学卒業まで拡充され、保護者から喜ばれている。〔質問〕高校卒業まで助成制度を拡充した場合、新たに必要となる費用はいくらか伺う。

〔答弁〕【市長】高校卒業までを対象にした場合、必要な額は約1千500万円と思われる。

〔質問〕助成制度の対象年齢を引き上げる考えはないのか伺う。

〔答弁〕【市長】子ども

医療費助成の自治体間の競争は、好ましくなく、全国市長会でも、全国一律で負担すべきと国へ提言している。そのため、現行の制度は継続していきたい。

〔質問〕この制度には所得制限があり、助成を受けられない世帯もある。近隣の町では、子育て支援や定住促進のため、所得制限を撤廃しているところもある。

そこで、若い世代の定住促進、そして、白石は子育てに力を入れているまちであるとして、アピールするためにも、所得制限を撤廃する考えはないのか伺う。

〔答弁〕【市長】一定の所得がある方には負担をいただきながら、撤廃については、慎重に検討しなければならぬと考えている。やはり、医療費の助成が、市や

町の競争になってはいけないと考えている。◎国民健康保険税について

〔質問〕平成27年度の本市の保険者支援金の交付額について伺う。

〔答弁〕【市長】現時点での試算では、約4千94万円である。

〔質問〕この支援金による軽減策は検討しているのか伺う。

〔答弁〕【市長】現時点でも低所得者への軽減策（7割・5割・2割軽減）を行っている。支援金の活用は、今後、軽減策も含め検討していきたい。

〔質問〕国保財政調整基金の一部を取り崩して、国保税の引き下げを実施できないのか伺う。

〔答弁〕【市長】現在、本市の月平均医療給付額は、約2億2千600万円である。医療費がなかなか抑えられない状況にもあるが、引き下げが可能などうか検討を重ねていきたい。

### 防犯カメラ設置促進について

伊藤 勝美



必要ではないかと考える。

◎全国学力テストについて

〔質問〕防犯カメラは、今や私たちの身近にあり、さまざまな場所でも普及している。小中学校周辺や主要通学路への防犯カメラの設置促進に取り組みべきと考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】防犯カメラは、犯罪等を未然に防止する効果があることは認識をしている。しかし、市民の立場からすると、「監視されている」とか、あるいは「プライバシーの保護は大丈夫なのか」という側面を持ち合わせている。

今後、防犯カメラの設置については、教育委員会、または各地区の意見を踏まえて、慎重に進めていくことが

等についても、意識的に取り組んでいる。

◎安全保障関連法案について

〔質問〕集団的自衛権行使にかかわる安全保障関連法案が国会で審議されている。

これまでの憲法の平和主義・安全保障政策を大きく変更することにもなる法案であり、多くの国民の理解も得られていない状況ではないかと考えるが、どのような見解を持っているのか伺う。

〔答弁〕【市長】これまでの安全保障政策の転換になるということは、報道を見る限りでは感じている。

しかし、本日（9月16日）の参議院の委員会で採決を目指すという報道も出ており、これ以上の発言は差し控えたい。

【その他の質問】

◎白石版「地方創生」について

### 下戸沢簡易水道の水源について

菅野 恭子



を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】今年4月・5月の降水量不足が原因と思われるが、7月以降は水量も回復し、水源は枯渇していないので、供給に長期的な支障が出ることは考えにくい。

〔質問〕小原下戸沢地区における簡易水道の水源は、近年、水量が減少し、この地区への給水車の出勤回数が増加している。担当からは以前の4分の1くらいは水量と聞いている。

下戸沢地区は、県道に面して家が立ち並び、歩いて短時間で地区内を移動でき、高齢の方でも近隣との交流がしやすい環境にある。

かつては参勤交代の要路、宿場町として栄えたこともあり、工夫次第で人を呼び込むことも可能であり、地方創生に繋がるものである。しかし、命の源となる水が不足する現状ではそれ以前の問題である。

早急に、安全で安定供給が可能な水源確保

毒ができる書籍消毒機を設置する図書館が増えている。

衛生的で快適な利用のため、本市においても、ぜひ検討すべきではないか。

〔答弁〕【教育長】衛生面で一定の効果が考えられるが、導入については、その効果を調査しながら、県内の状況を見て進めていきたい。

〔質問〕本市図書館は、建築から40年を経過し、老朽化、空間的な狭さを感じる現状である。いろいろな視点から、新築を検討すべき時期にあると考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】現在、建物の改修や機械のメンテナンスなどを行い、建物の長寿命化を図っている。今後は、市の公共施設等総合管理計画を作成し、その中で将来の見直しを検討していきたい。

【その他の質問】

◎河川保全区域の公有地の有効活用について



### 白石版地方創生総合戦略について

保科善一郎



〔質問〕本市は、高速道路や新幹線など立地条件の優位性を有しており、「道の駅」や「スマートインター」等は、地域を活性化する有効な方策であると考え、が所見を伺う。

〔答弁〕【市長】第五次白石市総合計画で、人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市を目指している。「道の駅」や「スマートインター」はあれば良いと考えるが、どちらに優位性があるかも含めて考えていくことが地方創生であると考えている。

〔質問〕国は地方創生に係る支援の一つとして人的支援を明言しているが、対応する考えはあるのか伺う。  
〔答弁〕【市長】副市長の派遣は聞いているが、

現在、経済産業省と職員との間で連絡を取り合いながら動いている。この総合戦略ができた時点で、必要な人的支援を要請する場合もある。

〔質問〕地方創生戦略の情報支援として、地域経済分析システム（REASAS）が国から配信されたが、その活用状況について伺う。

〔答弁〕【市長】現在、人口ビジョンや総合戦略策定に向けた将来人口推計等や庁内のプロジェクトチームでの事業検討時に活用している。

#### ◎市内小中学校の将来構想について

〔質問〕市内小中学校の児童・生徒数の減少を危惧し、検討委員会が設置され、文部科学省の適正規模を基準に、答申が示されたが、減

少の具体的な要因分析がされたのか伺う。

〔答弁〕【教育長】検討委員会では具体的には検討していない。しかし、数字的に見ると、昭和60年からの10年間で、越河・斎川地区の小・中学校に在籍した児童・生徒数は92名であるが、現在、地元で5分の1も残っていないのではと考える。

これは、子どもたちが大人になって地区に戻らなかったことが大きな要因であると考えている。

〔質問〕父兄の声を聞くと、地域に児童館がなかったことも大きい。統廃合については、文部科学省の基準ではなく、白石独自の対応を取ることはできないのか伺う。

〔答弁〕【教育長】学校はできれば残したいと考えて検討してきたが、複式学級は避けなければならぬというのが、教育委員会としての方針である。

### 小中学生の校内校外生活について

四竈英夫



〔質問〕長期の夏休みで学校生活から離れることにより、思わぬ事故や事件に遭遇することがある。

夏休み期間中、水の事故や交通事故、その他の事件・事故はなかったのか伺う。

〔答弁〕【教育長】教育委員会や学校等でパトロールをした結果、事件・事故はなかった。

〔質問〕中学生が深夜・早朝に徘徊し、事件に巻き込まれた悲惨なニュースがあったが、徘徊などをさせないため、どのような指導をしているのか伺う。

〔答弁〕【教育長】深夜徘徊は虐待行為であることから、学校等で厳しく指導している。

県の青少年保護条例でも、午後11時から午前4時まで、青少年を外出させてはいけないと規定している。

〔質問〕携帯電話やスマートフォンなどの普及により、有料サイトへの過剰アクセス等、金銭的な被害やトラブルはなかったのか伺う。

〔答弁〕【教育長】携帯やスマホは、トラブルが起きる可能性があるため、親の責任で契約してほしいと話している。学校からは、金銭的な被害やトラブルの報告はなかった。

〔質問〕勉強に影響を及ぼさないために、ゲームやテレビの時間について、どのような指導をしているのか伺う。

〔答弁〕【教育長】「家庭の日」を設け、できるだけノーテレビ・ノーゲームデーの普及

に努めている。

◎学校におけるいじめ、不登校、ひきこもり等への対応について

〔質問〕東北6県では、過去6年間で自殺をした児童・生徒は154人上ることが報道された。本市では、いじめ・不登校・ひきこもりなどに對し、どのような配慮・気配り・目配りをしていくのか伺う。

〔答弁〕【教育長】学校では、月1回調査を行い、いじめ・不登校等について把握している。各学校では、早期発見・早期対策を心掛けていく。

〔質問〕そのような兆候などが感じられた場合、どのような対応をしているのか伺う。

〔答弁〕【教育長】担任教諭のほか、学年主任・養護教諭・スクールカウンセラー・ソーシャルワーカー等を含め、相談支援を複数で行う体制をとっている。

◎その他の質問  
【その他の質問】  
〔質問〕TPPに対する所見について

### 各種委員会設置

9月定例会初日の本会議において、市政や議会に係る課題や諸問題解決のため、三つの委員会等の委員の選任が行われました。

各委員会等の名称、活動事項及び委員は次のとおりです。

### 議会改革推進会議 (8名以内)

- 1 議会のあり方に関すること
- 2 議会改革が必要な諸課題に関すること

- 委員長 小川 正人
- 副委員長 菅野 恭子
- 委員 伊藤 勝美
- 委員 澁谷 政義
- 委員 大野 栄光
- 委員 佐藤 聡一
- 委員 佐藤 秀行
- 委員 山田 裕一

### 政策企画調整会議 (8名)

- 1 市民意見等を政策立案や提言とするための対応方針等に関すること
- 2 市民意見交換会に関すること

- 委員長 山谷 清
- 副委員長 佐藤 秀行
- 委員 佐藤 龍彦
- 委員 保科 善一郎
- 委員 菅野 恭子
- 委員 山田 裕一
- 委員 松野 久郎
- 委員 志村 新一郎

### 議会広報委員会 (9名)

- 1 議会報の編集及び発行に関すること
- 2 市議会のホームページに関すること
- 3 関連資料・情報収集及び調査研究

## おわび

- 委員長 菅野 恭子
- 副委員長 佐藤 聡一
- 委員 佐藤 龍彦
- 委員 保科 善一郎
- 委員 大町 栄信
- 委員 四竈 英夫
- 委員 佐藤 秀行
- 委員 山田 裕一
- 委員 松野 久郎

平成27年7月31日発行の第178号5頁の意見が分かれた議案の賛否一覧の件名に次のような誤りがありました。おわびして訂正いたします。

【正】 安全保障関連法案の徹底審議を求める意見書

【誤】 安全保障関連法案の撤廃審議を求める意見書



改選後の初議会



# 8月臨時議会

8月7日に第416回市議会臨時議会が招集され、次の議案が提案されました。

### ◎監査委員の選任について

同意

監査委員（議会選出）  
小川 正 人 議員

大町 栄 信 議員 17票

### ◎副議長選挙

投票総数	18票
有効投票	17票
無効投票	1票
有効投票中	

また、今回の臨時会は、市議会議員改選後の初議会で、正副議長の選挙や議会運営委員会及び常任委員会等の委員の選任が行われました。その結果は次のとおりです。

### ◎議長選挙

投票総数	18票
有効投票	18票
無効投票	0票
有効投票中	

佐久間 儀 郎 議員	10票
沼倉 啓 介 議員	8票

## 議会運営委員会 (7名)

議会の運営、会議規則及び委員会条例等に関することについて、審査や調査をします。

委員長 志村 新一郎
副委員長 山田 裕一
委員 保科 善一郎
委員 伊藤 勝美
委員 伊藤 政義
委員 佐藤 秀行
委員 松野 久郎

## 総務産業建設常任委員会 (9名)

総合計画、財政、市税、建設、上下水道、農業、商業及び観光などに関することについて、審査や調査をします。

委員長 山谷 清
副委員長 菅野 恭子
委員 保科 善一郎
委員 澁谷 政義
委員 大野 栄光
委員 四ノ宮 英夫
委員 小川 正人
委員 佐藤 聡一
委員 志村 新一郎

## 厚生文教常任委員会 (9名)

教育、社会福祉及び保健衛生などに関することについて、審査や調査をします。

委員長 山田 裕一
副委員長 松野 久郎
委員 佐藤 龍彦
委員 伊藤 勝美
委員 沼倉 啓介
委員 平間 知一
委員 佐久間 儀郎
委員 大町 栄信
委員 佐藤 秀行

## 白石市外二町組合議会議員 (刈田病院議会議員) (7名)

議員 伊藤 勝美
議員 平間 知一
議員 四ノ宮 英夫
議員 佐藤 聡一
議員 佐藤 秀行
議員 山田 裕一
議員 松野 久郎

## 図書室運営委員会 (5名)

図書室の運営に関することについて協議します。

委員 佐藤 龍彦
委員 保科 善一郎
委員 佐藤 聡一
委員 佐藤 秀行
委員 松野 久郎

## 仙南地域広域行政事務組合議会議員 (2名)

議員 佐久間 儀郎
議員 山谷 清

## 宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員 (1名)

議員 菅野 恭子
----------

# 人 事

9月定例会において、次のとおり任命・推薦することに同意しました。

### 〔教育委員会委員〕

(任期：平成27年10月1日～平成31年9月30日)

佐藤 敏義 氏

### 〔人権擁護委員〕

(任期：平成28年1月1日～平成30年12月31日)

佐藤 松代 氏



鬼小十郎まつり (子ども武将隊)

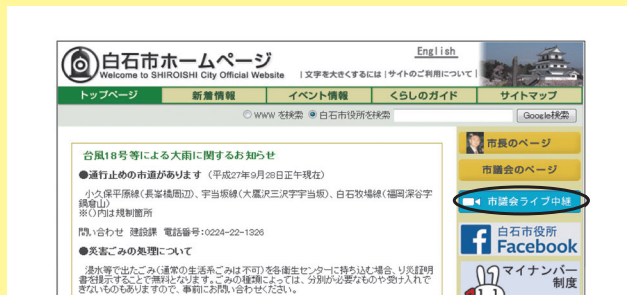
## 議会を傍聴してみませんか！

12月定例会は、平成27年12月4日(金)午前10:00開会予定です。

定例会は、年4回(2月・6月・9月・12月)開催されます。市の予算や決算、条例など、市民のみなさんに深く関わりのある議案が審議されます。

また、市議会では、インターネットによる中継を行っています。議場で行われる本会議(議案審議・一般質問など)や予算審査をライブ中継や録画映像で視聴できます。

※録画映像は、生中継配信の日から30日間を経過すると自動で削除されます。



- 8月臨時会の傍聴者数 23人
  - 9月定例会の傍聴者数 50人
  - 8月・9月の議会ライブ中継の合計視聴者数(累計) 1,323人
- 市のホームページの「市議会ライブ中継」をクリック

## 編集後記

白石市議会は、先般行われた市議会議員選挙により、新体制になりました。

これに伴い、議会広報委員会も、初当選の議員を含む9名の委員でスタートいたしました。

『議会だより』発行の目的の第一は、議会活動の状況を広く市民のみなさまにお知らせすることにあります。

一人でも多くの方に、『発行が待ち遠しい』と思っただけのよう、正確さはもちろんのこと、わかりやすく・読みやすく、より充実した誌面を目指し、努力してまいります。

今後とも、どうぞよろしく  
お願い申し上げます。

議会広報委員会  
委員長 菅野 恭子



新たに私たちがわかりやすい「議会だより」を担当します。

### ● 前列(右から)

佐藤 聡一 副委員長  
菅野 恭子 委員長

### ● 二列目(右から)

松野 久郎 委員  
佐藤 龍彦 委員  
四電 英夫 委員

### ● 三列目(右から)

山田 裕一 委員  
保科 善一郎 委員  
佐藤 秀行 委員  
大町 栄信 委員